

令和6年5月27日

令和5年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学
東京歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価

学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 副校長)
- ② 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)
- ③ 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ④ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ⑤ 三宅 みちる (32回卒業生)

学内委員

- ① 佐々木 ひろみ (学校長)
- ② 李 昌一 (副校長)
- ③ 江口 浩道 (事務長)
- ④ 儀我 有子 (教務主任)
- ⑤ 齊藤 和臣 (広報部長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第5回）
開催日時	2024年5月27日（月）
場所	書面開催
委員 （敬称略）	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校副校長） 富田 基子（東京都歯科衛生士会顧問） 功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長） 櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長） 三宅 みちる（32回卒業生） 佐々木 ひろみ（学校長） 李 昌一（副校長） 江口 浩道（事務長） 儀我 有子（教務主任） 齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）
配布資料	2023年度 学校自己評価報告書
結果報告等	集約した意見は「令和5年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書」にまとめた通り。

以上

2023年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

<適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言	
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)		
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<p>【成果と課題】 ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。</p>	<p>・自己評価結果の内容は適切だと思いません。専門性の高い医療従事者に求められる項目が過不足なくこの教育理念には盛り込まれ、そのことが学生生活の中でも十分に意識されるように工夫されていると思います。敢えて言えば、今後の学校運営においてどのように他校との差別化を図られていくのかなのかもしれない。他校にはない教育目標をたてられることも検討されても良いのではないのでしょうか。</p> <p>・人々に信頼され心を癒せる健康支援者、「判断力・創造力・行動力」持つ歯科衛生士という目標について、当院で15年勤務している歯科衛生士はそのような目標の歯科衛生士に成長してくれています。この目標を実践していただけることは、医療現場にいる立場として感謝しております。</p> <p>・実社会で活躍されている卒業生からの講話の機会を設定されるなど、社会と直結するプロフェッショナルを育成する教育機関としての役割を十分に果たされていると考えます。2年生にも取り入れていけると更によいと感じます。</p> <p>・医療という社会貢献度の高い職業に就くための要素を養う機関として、厳粛な雰囲気の中でも、迷われた学生さんへ親身に手を差し伸べている様子が感じられます。</p>	
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4	<p>・1、3学年の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。</p>		
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	<p>・教育理念・目的・育成人材像は定められていると考える。オープンキャンパスを通じても周知されていると感じ、それに共感して入学する者も多数いると思う。</p>		
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	<p>【今後の改善方策】 ・学校の理念・目的に基づく人材育成を実践していく次世代の教職員を育成していくこと。</p>		
					<p>・教育理念・目標は学校の基盤となるので、引き続き折に触れ何度も繰り返し伝える努力を継続する。</p>

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	【成果と課題】 ・次年度に向け教員の増員が可能となった。 ・国家試験対策DHACSの活用により、教員の業務削減に繋がった。	・自己評価結果の内容は適切だと思います。 少数精鋭で堅実かつ親身な運営、教育活動をされていると思います。専門職大学等の将来の準備にも期待したいところではあります。 ・学生が必要な資料のオンライン化は素晴らしいと思います。また、時代にマッチした環境をつくっていく事は、良いことだと感じます。 学校運営における最重要課題である業務の効率化、特に各種業務でのICTの導入について、円滑に進められていると見受けられます。適応の難しい場面もあるかと思いますが、この方向性は不可逆的なものですので、制限を設けることなく取り組んでいくしかないかと思えます。中でも教職員の方への浸透が鍵になるかと思われます。 ・教員の増員は、学生に対して質の高い教育やサポートの実践に繋がります。対策がうまくいっていると思います。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	・学校運営におけるDX化の検討がなされ、校内にWI-FIを導入し、教授要項、日程、授業資料等学生が必要な資料をオンライン化する方向性を確立させた。2024年度には、実用可能となる。また、HP上に学生ページを開くことを検討した。このことにより、学生へのサービス向上と教務の業務削減に繋がると考える。	
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	4		
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4	【今後の改善方策】 ・本校での学習に必要なソフトを予めインストールした学生全員共通のデバイスを持たせることにより、授業の効率化、資料配布方法の合理化(電子配布)学修の効率化を図る。同時に教職員の負担軽減、業務改善にもつながる。	
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	・将来的には、教務事務を配置し、教員の本来の教育面での業務に専念できるようにしていく必要を感じる。	
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4	・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らす電子化を更に進める	
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	4		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】 ・実力試験のあり方、判断基準を検証できた。</p> <p>・審美歯科、訪問歯科、インプラントなど新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用、実習先の更なる確保。</p> <p>【今後の改善方策】 ・非常勤でもよいので、新しい専門分野に関する講義を行う講師を採用し、卒業生がどんな就職先でも困らないように就職先の選択肢を広げるような幅広い基礎知識を身に付けてもらう。</p> <p>・法人が開設するサテライトクリニックでの高度な専門分野の実習に対する具体的な介入方法の検討を進める。</p>	<p>・自己評価結果の内容は適切だと思います。 国家試験合格を前提として、社会に出るための最終段階での学力養成は必須となりますので、この分野での更なる改革は評価に値します。特に課題として挙げられている、審美歯科、訪問歯科、インプラントなど新しい技術や知識の習得のための機会をどれだけ設定できるかは、教育活動の根幹を担うものになるのではないのでしょうか。来年度以降にその成果を拝見できればと思います。また、学生にとっても就職先の選択肢が増えていくかと思います。</p> <p>・職員の能力開発のための研修会を行い、新しい内容の教育活動に取り組んでいる様子がわかりました。学生さんの挨拶等のマナーがとてもよいと感じます。ご指導の成果かと推察します。</p>
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4		

(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生全員の国試受験と100%合格の達成(2年連続) ・国試対策補講、KDU講師により解説授業の充実を図ることができた。 ・成績不良者のみならず、全体の満足度を挙げ全員で合格する意識を高める対策を講じることができた。 ・夏季休暇前の就職ガイダンスの開催を実現でき、学生への意識づけにも繋がった。今年度は、法人医療機関のガイダンス参加も現実化され、法人附属病院、横浜クリニックへの就職へと繋がった。 ・卒業生による「卒後のキャリアアップ」講話の実施 ・寺子屋教育を進め、学生の不安を受け止めて学習のサポートを実施できた。 ・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。今年もコロナ禍の中で連携が稀薄になってしまった。連携について模索が必要である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き国試合格の維持・向上のための対策(TDH版)を作り上げていく事。 ・本館でのWI-FI導入により、次年度の国試対策ソフトDHACSの更なる活用が可能となる。 ・同窓会で確認している卒業生の活動について、教職員間で共有する。 ・就職の現状についてのアンケートの方法、時期の検討(Googleアンケートの実施) ・退学者低減を意識してサポートしてきているが、今後も親身な教育を継続していく。 	<p>・自己評価結果の内容は適切だと思います。学生のためにも、親身に対応されている様子が伺われます。2年連続の国家試験合格は素晴らしいと思います。賞賛に値します。先生方の日常のあり方が実っている成果です。また、寺子屋教育で学力に自信のない学生をサポートして意識を前向きにさせている様子がわかります。</p> <p>・退学者低減のために親身なサポートを行っている点は、とても評価できます。卒業生の動向把握は、非常に難しいところかと思えます。退学者低減、卒業生の社会的活動など、このような場面にも今後ICTの活用などで活路が見いだされるのではないのでしょうか。</p>
	② 資格取得率の向上が図られているか	4		
	③ 退学率の低減が図られているか	3		
	④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3		
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3		

(5) 学生 支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人票閲覧のWeb化により、学生、教員双方に利点があった。 ・高等教育修学支援制度の対象者が増加し、経済的支援を継続している。 ・ハローワークの教育訓練給付金の対象講座として継続して指定され、今後の社会人入学生の支援を継続することができる。 ・就職ガイダンスの実施。また、企業による就職活動のアドバイスの実施ができた。 ・高校ガイダンスへの参加が増え、高校生への職業教育に繋がった。 ・感染予防対策を徹底し学生の安全を図りながら、授業、実習を実施することができた。 ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。また3年生の保護者には、必要に応じて国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。 ・1年生の親睦会を、感染対策を講じながら野外活動として実施できた。 ・既卒生の国試合格に向け、学校としては補完授業の支援体制をとったが、本人の意識づけ・来校を促すことが難しかった。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の動向を把握するために、同窓会(藤紫会)との連携を強めていく方策を模索する。 ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年に引き続き)の検討。 ・既卒生の国試不合格者への対応の検討を進める。 ・コロナ下禍で縮小したスクールカウンセラーの活用再開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果の内容は適切だと思います。 進路支援だけではなく、経済的支援体制の整備など教育機関として負うべき責任は多岐にわたり、学校としてのご負担も少なくないと思いますが、この部分での取り組みが長期的には学校評価に繋がるはずです。 ・学生の心身の健康管理にも相応の労力を割くことが求められるなど、今までにない対応が求められることにもなると思われます。この部分での対応もよろしくをお願いします。 ・求人票のWEB化が行われたとのこと何よりです。以前拝見した時には、歯科医院の求人がファイルにまとめられており、改善されたと感じました。 ・保護者との連携では、つながりが強化されることにより、より安心な学校環境になると思います。 誰にも相談できないタイプの学生もいるかと思しますので、スクールカウンセラーの活用は必須だと思います。 ・企業見学等を実施してされており、将来の職域の広さ、可能性を上げられると思います。また、就職ガイダンスを実施されているのは、良いことかと思います。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4		
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4		
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3階トイレの改修工事を夏季休暇中に実施した。これで学生使用の水回りは全て改修が終了した。 ・実習室にウォッシャー洗浄機を導入し、教育効果を高めることができた。 ・新しい臨地実習先の導入が可能となった。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人開設の都内サテライトクリニックにおける本校学生の実習の可能性を探る。 ・海外研修についてはコロナ収束後に検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果の内容は適切だと思います。校内の整備は毎年計画的に行えているので安心です。毎年改善を心がけている姿勢には頭が下がります。高価な設備投資もあるかと思いますが、それがあからこそ、より高度な時代の要請に応える教育が可能となると考えます。 ・今年度導入した器具洗浄機、最新機械は、学生のモチベーションを高めるとともに、新入学者への影響にも良い効果があるかと思えます。 ・今年は地震が多発しており、防災の点での対策、食料、簡易トイレ等の備蓄などに努められていることはよいと思います。
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3		
	③	防災に対する体制は整備されているか	4		

(7) 学生の受入れ募集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年連続での定員充足ができています。 ・次年度の定員が早期に充足したことはとても素晴らしいことであり、広報担当者をはじめ教職員が一団となり取り組んだ成果であると感じる。 ・オープンキャンパスの教職員の対応は好評を得、募集活動に貢献した。 ・若者(高校生)をターゲットとしたSNS戦略を取り入れ、好評を得ている。(フォロワー数のアップ) ・本校の教育方針を伝えるガイダンスに昨年以上に参加でき、TDH教育を広められ、高校との接触を強化できた。 ・高校との繋がりが強化され、目標としている指定校推薦入学者が一定数確保できた。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校推薦での入学者を増やすため、高校への広報活動をより活発にしパイプを強化する。そのためにも、丁寧な真面目な指導を行う教育面での成果を教務全体でも意識していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果の内容は適切だと思います。継続して定員充足を果たされているのは何よりです。その為の戦略が、綿密に計画されていればこそだと考えます。特にSNSやHPの活用など細かな検証とともに進められているに違いないでしょう。そして何より医療系の学校においては、国家試験の結果が全てともいえませんので、このように入口と出口で絶えず見直しが図られているのは素晴らしいことです。 ・6年連続で入学者の定員を充足できている点は、良い教育を実践している評判の現れかと思います。国家試験の難易度が上がっているとのことで、意欲のある学生が入学していけるように今後もオープンキャンパスなどを充実させていってください。HPを見やすいテイストにしていく事を、常に意識しているのが感じられます。
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4		
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4		

(8) 財務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	【成果と課題】 ・5年連続しての入学定員充足と休退学者減少による学生在籍数の増加、及び法人変更の好影響により、学校の財務基盤は更に安定し、今年度も経常収支は黒字決算の予定。	・自己評価結果の内容は適切だと思います。会計監査等を通じて自己分析も適切に行われており、全く問題ないと考えます。 学生数の確保、退学者の低減に尽力されていることで、このように財務が安定していることと思います。 健全な財務状況であるからこそ、今後とも意欲的な取り組みが積極的に行えるものと考えます。これからも長期的な視野に立って学校運営を進めていかれることと思います。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	・財務の安定により、教育に関わる教材、設備等の導入も、教員の要望にできる限り対応することが可能となった。	
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	【今後の改善方策】 ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め現在の在籍数を維持していけば財政基盤は更に安定する。	

(9) 法令等の 遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開している。 ・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。 ・問題点の改善に取り組んでいる。 ・広報等で使用する承諾書を全学年取得した。 ・ハラスメントのFD活動に取り組んだ。 <p>【今後の改善方策】</p>	<p>・自己評価結果の内容は適切だと思います。適切に運営されていることがわかり安心がより増しました。</p> <p>医療の分野の学校においてはこの項目が常に万全な状態にあるかどうかを点検することは当然の義務になるかと思われます。その時々々の社会の動向に応じて新しい基準や観点が変わることもあるかと思いますが、今後とも抜かりなく取り組んでください。</p>
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	4		

(10) 社会貢献 ・ 地域貢献	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体への施設貸し出しを行い、社会貢献活動を行うことができた。 ・高齢者施設での「健康講座」を3年生対象に年2回取り入れ実施できている。 ・臨地実習を通じて積極的にかかわれていると思う。 ・地域の方への施設開放をコロナ禍以降行うことができた。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を講じながら、積極的に地域にアピールし、イベント、社会貢献活動を再開していく。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。積極的にアピールしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果の内容は適切だと思います。コロナ禍の中では思うようにいかない場面も多かったと思いますが、職能団体の動向や地域の情報を参考に積極的に取り組んでください。 学生時代の社会参加、ボランティア活動は将来の人格形成に役に立つはずで、今後の強化を楽しみにしています。 ・専門学校という性質上、職業に直結する技能の習得が学校にとっては何より大切になってくる中で、そういった学生を巻き込んだ社会地域貢献はなかなか難しいものだと思います。可能な範囲内で実現できる事柄から検討されてはどうか。 学生さん、凛とした教員が、この滝野川の地で教え学ばれることこそ、地域への貢献と思います。
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		
	③	地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3		